

クラス	Q302	担当教員	小平 英志
テーマ	パーソナリティと適応、精神的健康		
著書・論文 研究課題等	<p>【著書】『生きがい感：「自分探し、生きる」とは？』 松島公望・橋本広信（編）ようこそ！青年心理学—若者たちは何処から来て何処へ行くのか、第9章、2009年、ナカニシヤ出版 他</p> <p>【論文】『他者軽視傾向と一般的パーソナリティ—ビッグファイブとの関連の性差に注目して』現代と文化, 2015年／『高校生における仮想的有能感と学業に関するコミュニケーション』心理学研究, 2009年／『シングルマザーのワーク・ファミリー・コンフリクトが中高生の家族イメージ、結婚観に及ぼす影響』パーソナリティ研究, 2018 他</p> <p>(最近の研究課題) 青年期の自己概念、他者軽視傾向、動機づけと学習行動</p>		
ゼミナール概要			
キーワード：性格、人格、パーソナリティ、適応、精神的健康、青年期			
<p>ゼミの目的 元気そうに日々を送っている人でも、上手くいかず悩んだり、苦しんだりすることはたくさんあります。まさに「人生は綱渡り」で、風が吹き荒む中、我々はバランスを取りながら、何とか綱を渡って生きているわけです。環境へと何とか適応しようとする様子には個人差があり、その独特の適応スタイルを決めているのがパーソナリティ(人格、性格)です。パーソナリティは、人を生きやすくし、また生きにくくもします。ゼミでは、「適応」と「精神的健康(メンタルヘルス)」の2つをキーワードとして掲げ、現代において、人が外的・内的環境に適応し生きていく上で必要なものは何なのかを、パーソナリティの視点からアプローチします。まずはひとりひとりの身近な出来事や事例、素朴な疑問から出発し、最終的には学術的研究の形にしていきます。これらのプロセスを経験することで、自分が疑問に思ったことを、心理学的手法を用いて明らかにする手続きを学んでいきます。</p> <p>授業計画 3年次には、まずは議論慣れと心理統計のスキル向上を目指して、①<u>ディベートのトレーニング</u>と同時に<u>統計パッケージの R の操作方法</u>について学びます。その後、②<u>学術論文の読み方</u>を学び、心理学の研究のスタイルや論の展開、証拠の示し方(統計的検定)などを理解した上で、論文の内容を題材に議論していきます。後半には、③卒業論文作成に向けて、<u>各自レビュー</u>(論文収集と整理)を進め、予備調査等も実施していきます。4年次にはそれぞれのテーマに従って<u>個人研究</u>を進め、ゼミでの<u>発表</u>を重ねることで最終的に卒業論文としてまとめていきます。</p>			
担当教員からのメッセージ			
<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミのスローガンは「がっつり、どっぷり心理学」です。心理学の証明の方法や説得の仕方は、卒業後にどのような道に進む上でも役立つはずですので、しっかりと自分のものにしていきましょう。「大学で心理学を学びました!」「私は大学で〇〇の研究をしていました!」と堂々と言えるようになるのを目指します。人の心理について深く考えたり、友達と議論することを通して、知的な発想や発見を生む雰囲気を全員で作っていきましょう。専門用語でジョークが言えるようになりたい人、大歓迎です。 <p>【ゼミの特徴など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美浜キャンパスの大学祭でゼミ企画(心理尺度体験)を出展します。 ・自宅でも統計解析ができる R をゼミの標準にします(みんなでいちから勉強します)。 ・3年生と4年生で積極的に交流をしていく予定です。先輩・後輩達の関心や研究内容を知ること、心理学的研究のスキルを高めていって欲しいと思います。 <p style="text-align: right;">研究室 HP は下の QR コードから。「ゼミについて」で卒業論文のタイトルなどを掲載しています。</p> <div style="text-align: right;">  </div>			